

千代ヶ崎砲台跡(西浦賀6-17)



千代ヶ崎砲台跡は、東京湾要塞に関わる構成文化財として日本遺産に登録され、三浦半島各地に数多くある砲台跡の中でも国指定史跡となっているのは猿島とこの千代ヶ崎だけです。

千代ヶ崎砲台跡は、西浦賀の燈明堂近くの丘の上に位置し、1万5千㎡を超える広大な面積を誇る史跡となっております。1895(明治28)年2月に竣工し、浦賀湾前面海域と久里浜に上陸した敵に対する防御が主な任務で、海正面防御砲台(榴弾砲)と陸正面防御砲台(臼砲・加農砲・機関砲)で構成されています。

猿島砲台から11年後に建設され、建築資材や技術にも改良と発展を見ることが出来ます。高温焼成により煉瓦の撥水性を高めた焼過煉瓦を出入口付近に使用し、出口のアーチには斜架拱という煉瓦をねじったような特殊なレンガ積みを見ることが出来ます。

浦賀で生まれ育った私にとって、この目でどうしても見ておきたい場所の一つでありました。きつい坂を上りきった場所にあり、そこから見える東京湾の景観は絶景でした。

この砲台跡が今後、大切な歴史遺産として有効的に保存活用されることを大いに期待しています。

走水低砲台跡(走水2-698 旗山崎公園内)



走水低砲台跡は旗山崎公園内にあり、普段は一般の人の立ち入りを禁止しています。第1砲座から第4砲座までの4つの砲座からなり、27cm加農砲4門が東京湾の最も狭くなる浦賀水道に向けて東京湾防備のために構えられました。また山腹には煉瓦造りの弾薬庫2棟と兵舎が1棟あります。ここはかつて江戸時代にも台場が築かれるなど東京湾防備の上で大変重要な地点であり、明治政府も早くにこの地に砲台建設を計画し、観音崎、猿島に続いて1885(明治18)年に建設を着手しました。

弾薬庫は、兵舎を中央に左右2か所ずつあります。また砲座ごとに専用の弾薬庫があり、各弾薬庫の中には、砲弾を上部の砲座に上げるための揚弾井があります。砲台の北端部には観測所があり、背面の尾根筋にももう一つ観測所があったとされ、ここで敵艦船との距離や方向を観測していたとのこと。

ここ走水低砲台跡も東京湾を望む眺望のよい場所に位置し、緑豊かな公園内は遺跡に樹木が生い茂り、映画ラピュタの世界に入り込んだかのような様子。市は観音崎公園の砲台跡群とともに将来的には国史跡の追加申請を検討したいとしている場所です。(加藤委員)

走水神社



走水神社は観音崎、旗山崎、浦賀水道などを見渡せる崇高で静寂さを感じさせる場所にあり、祭神は日本武尊(ヤマトタケルノミコト)と、その後、弟橘媛命(オトタチバナヒメノミコト)の二柱です。

享保年間の火災で、神社の記録や社宝が消失してしまい、神社の創建は不明です。伝説では、日本武尊がこの走水から上総へ渡られるにあたり村民に「冠」を賜り、冠を石櫃に納めてその上に社殿を建て、日本武尊を祀ったことに始まると伝えています。

日本武尊が渡海の際、海上が荒れて今にも船が沈みそうになりました。海神の怒りを鎮めるため弟橘媛命は海に身を投じ、風波がおさまり日本武尊は無事に上総に渡ったといわれています。弟橘媛命は旗山崎に橘神社として祀られていましたが、戦時中に軍用地に



買収されたため、1909(明治42)年に走水神社に祀られることになりました。弟橘媛命が投身の折に詠んだ歌の歌碑が、1910(明治43)年、東郷平八郎、乃木希典らによって、社殿裏手の海が見晴らせる山の中腹に、海の安全な航海を願い建てられています。

現在では縁結びのパワースポットとしても観光客で賑わう人気の神社となっています。

防衛大学校

走水神社の背後の高台に、面積約65万㎡の広大な敷地を持つ防衛大学校があります。防衛大学校は1952(昭和27)年保安庁の附属機関として保安大学校が久里浜の仮校舎で開校しその後校名を改め、1955(昭和30)年4月に現在の横須賀市小原台に新校舎を建て移転されました。

防衛大学校では2年生になった4月下旬にカッター競技大会が行われます。カッターが駐留する走水海上訓練所へ向かうため、防衛大学校から走水神社に通じる299段の階段を駆け下り、訓練所まで走り抜ける練習を行っていました。

訓練所に走りついた鉄腕鍛えた学生たちは、血豆がつぶれて分厚くなった手でオールを漕ぎ、汗と涙を流しながら競技に臨みます。将来陸海空自衛隊の幹部となる若人の学生たちにとって、この走水の地は一生の思い出になることでしょう。

走水神社の参道の向かいには、学生たちにもなじみの人気食堂、味美食堂があり、お店の前には平日でも観光客が列を作っています。

このように横須賀の東海岸には、昔も今も大切に受け継がれてきた想いを感じることができる場所が多く存在しています。(田中委員)

※カッター…艦船に積み込まれる大型のボート。通常オールで漕ぐが、帆走もできる。



information

募集中!



景観デザイン部門

海が見える坂道部門

— 第2回 —

すかまち景観デザイン賞を募集します!

お気に入りの横須賀の建物と風景はどこですか?

1. 地域の個性豊かな美しい景観づくりに寄与しているもの
2. 歴史的な街並み及び自然環境の保全に寄与し、または調和を図っているもの
3. 横須賀らしさの演出に寄与しているもの
4. その他すぐれた景観づくりに寄与しているもの

1. 横須賀市内を対象とした公共の場所からの坂道(階段も可)と海浜が一緒になったもの

詳しくはこちら

募集期間：平成30(2018)年2月18日～9月30日

新会長あいさつ



よこすか都市景観協議会 新会長 小泉 厚

このたび、よこすか都市景観協議会の会長に就任しました小泉です。よこすか都市景観協議会は、発足以来数多くの先輩たちが育ててきた会です。また、景観に対する認識を少しでも多くの市民に持ってほしい、良い景観が人を引きつけ、魅力ある街へと横須賀を導く手助けができるよう尽力したいと思います。

横須賀は、海や緑など自然環境にあふれた歴史ある土地柄で、東の東京湾側と西の相模湾側では異なる表情(景観)があるように、地域によってさまざまな景観的特徴を持っています。それらは人々の暮らし・営みそのものによって形成されたものでもあり、市民一人一人がその担い手となっています。

ぜひとも市民の皆様と共に横須賀の景観的魅力の発掘、そして内包している魅力をさらに引出す活動を行っていきたく思っておりますので、今後とも、よこすか都市景観協議会の発展にご協力のほど、よろしくお願いたします。

平成29年度よこすか都市景観協議会会員

[順不同]

□正会員 《9団体》(一社)神奈川建築士会横須賀支部/(一社)神奈川建築士事務所協会横須賀支部/ミーズ設計連合協同組合/(公社)神奈川県宅地建物取引業協会横須賀三浦支部/(公社)全日本不動産協会神奈川本部横須賀支部/横須賀建設業関連団体協議会【(一社)横須賀建設業協会/横須賀建工同志会協同組合/(一社)横須賀三浦建設協会/横須賀電気工事協同組合/横須賀管工事協同組合/横須賀緑化造園協同組合/横須賀三浦塗装工業協同組合/横須賀内装事業協同組合/測新会】/横須賀商工会議所/(公社)横須賀青年会議所/横須賀市□オブザーバー会員 《4団体》神奈川横須賀土木事務所/東京ガス(株)横浜支店/東京電力パワーブリッド(株)藤沢支社/東芝ライテック(株)

よこすか都市景観協議会会員募集中です!

連絡先：横須賀市 都市部 市街地整備景観課 電話046-822-8377

よこすか都市景観協議会

検索

クリック!

発行：よこすか景観ニュース・HP編集委員会

委員長：木村 和貴 委員：加藤 雄治、鈴木 玲成、田中 義男、池野 啓介、佐藤 廣、宇野澤 真紀子